



学校だより



5月号

令和4年4月28日
横浜市立善部小学校
校長 福田 美穂

受け継ぎ つなぐ

学校長 福田 美穂



1年生も含め、みな新しい学年になり、それぞれの子もたちが「今年度は〇〇をがんばろう」とか「☆☆したい」「◇◇ができるようになりたい」という思いをもって学校生活をしています。2年ぶりに実施した学級懇談会で、各学級や学年の様子を担当がお伝えしたところですが、保護者の皆様には子どもたちの作品や自己紹介カードからも、やる気を感じ取っていただけたのではないのでしょうか。

コロナとともに生活して2年が過ぎました。3年目になる今、「元気なあいさつで、明るく楽しい善部小学校にしていこう」という先輩の意思を受け継ぎ、運営委員の5、6年生が正門であいさつ運動をしています。続けているこの運動の成果で、コロナ感染が始まったころより、うんと元気に、そして目を見てあいさつする子が多くなったと感じています。(運営委員の児童は、まだまだあいさつしてもらえないと寂しげですが…)他の委員会活動でも、先輩がしていたことを思い出しながら、さらに工夫を加えていきたいと6年生が張り切っています。コロナ禍で生活の知恵を得てきた大人もそうですが、子どもたちのパワーが一段と大きくなってきている気がしています。

4月20日に1年生を迎える会を行いました。前年度から代表委員会で計画をしていた会は、校庭の状態がよくなかったため放送で行うことになりました。お互いの顔を合わせることができない寂しさを吹き飛ばすような、元気やパワーがあふれる内容でした。どの教室からも大きな拍手の音や笑い声が聞こえ、子どもたちは仲間が増えた喜びを味わっていました。その後1年生は、それまで以上に授業や休み時間を利用してどんどん各階を探検し、上級生にかわいがられています。

ある休み時間、4～6年生の児童に、今年度どんなことがしたいか、どんな学校であってほしいかとインタビューしました。「プールに入りたい!」「ドッジボール大会をもっとしたい!」「(スマイル班活動以外に)いろいろな学年と一緒に活動したい!」「1年生との交流をふやしたい!」「全学年でZSFをしたい!」との答えに、長年本校が力を入れてきた交流活動、ふれあい学習を子どもたちは求めていることがわかりました。しっかりと受け継がれている「であい ふれあい ひびきあい」を大切に、子どもたちの願いをかなえていく学校教育を今年度も全職員、全力で行っていきます。

そして、授業参観・懇談会、PTA 運営委員会、安全ボランティア会議、スマイルボランティア会議、学校協働運営協議会などできる限り顔を合わせ、保護者、地域の皆様には知恵と力をいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

